SPECIAL REPORT

MILK JAPAN
全国8ヵ所でキックオフイベント開催

生産者による新たな牛乳消費喚起運動「MILK JAPAN」（ミルクジャパン）のキックオフイベントが10月に全国8ヵ所で開かれた。今号では各地での模様を紹介する。

● 指定団体会長が各地のラジオ番組でアピール。3連休に開催、家族連れで賑わう。

本会は10月から、「牛乳が日本を元気にする。」をスローガンにした草の根型の牛乳消費喚起運動「ミルクジャパン」をスタートさせた（中酪情報No.529号既報）。10日から全国８カ所で開かれたキックオフイベントでは、指定団体会長などが各地のラジオ番組でミルクジャパン活動をアピールしたほか、牛乳やキャンペーングッズの無料配布、酪農体験など多彩なイベントを開催した。ほとんどのイベントが10月の３連休と重なったこともあり、各地の会場は多くの家族連れで賑わった。

MILK JAPAN LAND 2010 in 有楽町

多くの人で賑わう有楽町イトシア前のメーン会場

牛乳で乾杯する酪農関係者

ミルクデリに長蛇の列

子牛と触れあう親子

ー東　京ー

■ ミルクジャパンで日本を元気に・砂金本会副会長 牛乳で子育て支援に期待・鹿野農水大臣

東京では、中央酪農会議と関東生乳販連の共催で10日、有楽町イトシア前の「MILK JAPAN LAND 2010」のメーン会場で午前10時半からキックオフセレモニーを開催した。

主催者挨拶した砂金甚太郎本会副会長は「こうしたイベントを通じて、若い母親と子どもたちに酪農体験してもらうことで親子や母親同士で豊かなコミュニケーションが生まれ、日本が元気になることを期待している」と述べ、ミルクジャパンで日本が元気になることに期待を示した。

来賓出席した農水省の倉重泰彦牛乳乳製品課長は鹿野道彦農水大臣の祝辞を代読、「ミルクジャパンは牛乳の消費喚起だけをPRするのではなく、牛乳を通じて親子、母親同士のコミュニケーションを支援し、酪農と牛との触れ合いを通じて、牛乳と家族の二人三脚で子育てを応援する活動だと聞いており、その成果を大いに期待している」と述べた。

東京会場では、栃木県の酪農家の人見みゐ子さんのキックオフ宣言に続き、キャンペーンキャラクターのミルティン、ミルコップが登場。お笑いタレントのTIM、元フジテレビアナウンサーの政井マヤさんらも参加して牛乳で乾杯した後、会場内で多彩なイベントが行われた。

メーン会場では東京FM「ミルクジャパンライブ」の公開収録をはじめ、TIMの二人による子育てトーク、歌手の岡本真夜さんのライブ、政井さんの絵本の読み聞かせが行われた。会場内の各エリアでは、牛乳や酪農に関するミルククイズに答えるともらえる「ミルク通貨」と交換で4種類のオリジナルドリンクの試飲や牛乳を使った料理の提供、搾乳・哺乳体験など、多くの家族連れが多彩なイベントを通じて牛乳と酪農に触れ合った。

ー東　海ー

■ 牛乳を少しでも多く利用を・伊藤東海酪連会長

東海酪連は10日に名古屋で「MILK JAPAN in NAGOYA」、11日に長野で「MILK JAPAN in NAGANO～今日は1日ミルクの日～」を開催した。地元ラジオ局（CBC＝名古屋、SBC＝長野）の協力でステージイベントや牛乳乳製品紹介、酪農教育ファーム紹介、ミルクジャパンの携帯サイト登録などを通して、活動の趣旨や牛乳消費への理解を求めた。

名古屋会場のアスナル金山には伊藤敏之東海酪連会長、馬瀬口弘志副会長、赤尾學専務ら役職員、酪農家、乳業メーカー関係者ら約60人が集まった。午前9時30分からのイベントでは、伊藤会長が「牛乳は国産100%。酪農家は厳しい中でも品質のよい牛乳を提供するため頑張っている。消費が減退している牛乳を、少しでも多く利用していただきたいと考え、新たな活動をスタートさせる」と開会宣言した。

会場では、ミルクジャパンのガイドブックをハンカチなどとともに配布、先着200人には牛乳を配った。ステージからは酪農家やメーカー関係者が、牛乳が作られるまでの仕事内容を紹介するなど、牛乳の料理用途を含めて、消費促進への理解を呼び掛けた。

ー東　北ー

■ 2日間で16万人が来場

東北生乳販連は宮城県牛乳普及協会と共催で16～17日の2日間、仙台市の勾当台公園で、「牛乳乳製品フェア2010 ミルクジャパンランドへようこそ」を開き、

２日間で16万人が来場した。

会場では、ミルクジャパンの携帯サイトへの会員登録やイベントに参加した来場者に、牛乳を使った５種類のドリンクが飲めるミルク券を配布した。また、１日500人限定で牛乳を使った大鍋料理の試食会、親子で楽しめる手作りバター体験、牛乳乳製品の試食販売、骨密度測定など多彩なイベントを行った。

ー北　陸ー

■ 牛乳類飲み比べに人気

北陸酪連は10～11日に新潟市の新潟ふるさと村で、ＦＭ新潟主催のフルーツ＆スイーツフェアの特設ブースで「MILK JAPAN in NIIGATA」を開催した。

会場では紙コップに入った成分無調整牛乳、成分調整牛乳、加工乳の３種類を来場者が飲んで成分無調整牛乳を当てるクイズに人気が集まったほか、親子ミルクスイーツクッキング、混ぜ飲み、子牛２頭との触れ合い体験などを行った。

ー近　畿ー

■ 牛乳を毎日コップ１杯飲んで・倉橋近畿販連会長

近畿生乳販連は10日に大阪市のなんばパークスでキックオフイベント「Kinki Milk Festa 2010 in NAMBA PARKS」を開いた。午前11時から始まったイベントでは、出口修身参事が「ミルクジャパンは、牛乳を通じて消費者と酪農家を結び付ける新しい活動」と開会宣言。1,000人を目標にミルクジャパンの携帯電話サイトへの登録呼び掛け、牛乳のまぜ飲み啓発ツール（ミルメイク）を１万セット配布して牛乳消費への理解を求めた。

ステージでは、倉橋準典近畿生乳販連会長がＦＭOSAKAの番組「LOVE FLAP」の公開収録に出演、「近畿にも多くの酪農家がおり、年間20万㌧の生乳を生産しているが、消費量は60万㌧で他の地区から生乳が運ばれてくる。毎日コップ一杯200ccを次の世代を担う子供たちやそのお母さんにも飲んでもらいたい」と呼び掛けた。また、「今夏は猛暑で牛も大変だった。出す乳も減ったが、頑張っていくので応援をお願いします」「牛乳を飲んで日本を元気にしよう」など酪農家から消費者に向けたメッセージも紹介した。

ー中　国ー

■ 山口県産牛乳4,000人に配布

中国地区では、山口県酪農協が９～10日、山口市の山口きらら博記念公園のきらら物流・交流フェア内の特設ブースで「MILK JAPAN in 山口～モーモーフェスタ～」を開催した。

山口県産牛乳の試飲（２日間4,000人）、親子での牛

乳を使った料理を作るミルクッキング（１日10組）、牛乳○×クイズなどを実施した。

なお、中国生乳販連は12月24日、岡山市で「MILK JAPAN in おかやま 牛乳が日本を元気にする。」と題してキックオフイベントを開催する。

ー四　国ー

■ ポリタンクで模擬搾乳体験

四国生乳販連は10日、徳島市の新町川公園で「MILK JAPAN LAND in 徳島」と題して、第24回徳島牛乳祭りと同時開催した。

会場では、ポリタンクを使った模擬搾乳体験（１日２回）をはじめ、ミルクジャパンのスタンプラリー、リーフレットの配布、酪農家自らが酪農の仕事や牛乳ができるまでを分かりやすく説明した「わくわくモーモー教室」などを行った。

ー九　州ー

■ ラジオ生放送で牛乳クイズ

九州生乳販連は11日、北九州市のリバーウォーク北九州で「MILK JAPAN in 北九州」を開催した。

九州朝日放送（KBC）のラジオ番組「ＰＡＯ～Ｎ」（正午から午後４時）での公開生放送で、山口昌春九州生乳販連常務が酪農や牛乳のクイズを出題。会場内ではミルクジャパン、九州生乳販連の消費拡大運動「九州 Love Milk Club」のリーフレットの配布、骨密度測定などを行った。